

富山県森づくりプランの主な目標と実績

○ 水と緑に恵まれた県土を支える多様な森づくりの推進

里山林の整備

(単位:ha)

年度	実績 H19-28	実績				計画		目標 H29-R8
		H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	
整備面積	2,628	216	272	243	244	213	812	2,000

整備実施例

地域住民との協働による
里山林整備
(氷見市余川地内)



混交林の整備

(単位:ha)

年度	実績 H19-28	実績				計画		目標 H29-R8
		H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	
整備面積	1,290	53	65	61	64	65	192	500

整備実施例

過密人工林整理
(黒部市宇奈月町舟見明日音沢地内)



「立山 森の輝き」の植栽

(単位:ha)

年度	実績 H19-28	実績				計画		目標 H29-R8
		H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	
植栽面積	42	20	20	17	37	50	300	460

整備実施例

無花粉スギの植栽
(南砺市川西地内)



○ とやまの森を支える人づくりなどの推進

県民参加による森づくりの年間参加延べ人数

(単位:人)

年度	実績								目標 R8年度
	H19	H20	...	H24	...	H30	R1	R2	
年間参加延べ人数	6,920	10,033	...	11,046	...	12,580	12,333	9,762	13,000



森林ボランティアによる森づくり活動



森づくりに必要な技術などを指導する森づくり塾

I 水と緑の森づくり推進事業

〇趣 旨

県民全体で支えるとやまの森づくりの推進や、森づくりの計画、実施内容の改善のための評価を行います。

〇令和2年度事業の実績

(1) 富山県水と緑の森づくり会議の開催

森づくり全般について、県内の各界の代表者等から幅広く意見を伺いました。

令和2年5月（新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催）

議題

- ・ R元年度事業の実施状況について
- ・ R2年度事業の取組みについて
- ・ 県民による森づくり提案事業の審査

主な意見

- ・ 水と緑の森づくり事業については、各種、県民のためになる良い事業を着実に実施している。
- ・ コロナ禍という制約があるが、今年度も多彩な事業が予定されており、成果が上がることを期待している。
- ・ 子供たちの可能性を引き出す為にも引き続き、森の寺子屋などの事業が行われることを希望する。
- ・ 今年度はコロナの影響で大変だと思われるが、鳥獣被害を防止するためにも、里山再生整備事業等を進めてほしい。

(2) 富山県森林審議会森づくり部会の開催

水と緑の森づくり事業について、専門的・技術的立場から評価をいただきました。

令和2年10月6日

内容

- ・ R元年度事業の評価
- ・ H27年度に実施した森林整備の5年経過の評価

評価と主な意見

①令和元年度事業の評価について

- ・ 評価対象の6事業すべて「達成」

②平成27年度水と緑の森づくり事業による森林整備の5年経過の評価について

- ・ 里山再生整備事業、みどりの森再生事業ともに「達成」と評価

主な意見

- ・ 5年経過の評価で、高齢化に伴い里山の維持管理を行う地域住民の活力度が低い地区が見受けられ、今後、この傾向がさらに強くなると予測されるので、対策を検討すべき。
- ・ 子供達を対象とした木育を進めることは、将来の森づくりの担い手を育成する上で、有意義である。
- ・ 過去に行われた県民意識調査で、回数を得るごとに森づくり税の延長に「賛成」する割合が増えているのは、森づくりの普及PRが進み、理解が得られている現れである。

(3) 森づくりの広報

①花とみどり・ふれあいフェア

「花とみどり・ふれあいフェア」に出展し、来場者に県が実施する森づくりの取組み紹介や、木工クラフト教室を行いました。

- ・開催日及び場所
令和3年2月27日（土）～28日（日）の2日間 富山市 ファフォーレ
- ・内容
パネルを用いた取組み等の紹介
とやまの森から集めた材料による「木工クラフト教室」



パネルの展示



木工クラフト教室

②その他 主な取組み

森づくりの取組みについて、広く県民の皆さんに広報を行いました。

6月27日（土）KNB「こんにちは富山県です」放送

（森林ボランティア活動や無花粉スギ生産の取組をPR）

6月中 森づくり税を紹介したパンフレットの掲出

（県内イオン・マックスバリュー）

(4) 県民意識調査の実施

これからの森づくりについて検討するにあたり、県民の皆さんの意見をお聞きするため、意識調査等を実施しました。

水と緑の森づくりの県民意識調査

- ・調査期間 令和2年12月5日～12月14日
- ・調査手法 無作為抽出、郵送返送方式
- ・標本数 県民2,500人、企業経営者1,000人